

《本部》

平成30年度は知的・精神的障害者入所型施設が行政の政策上どのように理解され、位置付けられ、取り扱われているか、家族を含めて社会の知識人（？）達から入所型施設がどのような見方をされているのかを思い知らされた研修会の報告書で始まったといえます。手をつなぐ育成会連合会が平成29年12月に東京で行った障害者週間連続セミナーのなかで「糸賀一雄思想『この子らを世の光に』とともに共生社会の実現に向かう」という勉強会があり、タイトルとはまるでかけ離れた野澤和弘氏の講演記録がそれです。4月に冊子化され全国に配布されました。手をつなぐ育成会連合会の姿勢もよく知らされました。

一方、我々にも反省はあります。障害者や社会的生活弱者に対する社会福祉政策が広い範囲にきめ細かく対処されることは大事なことです、そのなかで入所型施設の取り組みも「福祉・福祉、介護・支援」と強調されるあまり、いつのまにか「教育」というとらえ方が薄れていき、強く意識しなくなった、時に消えていったともいえる状態が施設の現実ではないかと受け止める必要があります。

大木会は運営する施設・グループホームを利用されている方々の暮らしの充実を第一義に取り組んできた一年であります、併せて職員の外部研修への参加のみではなく、法人内部での職員研修、新人研修、青山塾、個人企画研修など、職員の育ちを願う取り組みや、面談制度の導入、期末勤勉手当の働き方対応支給、お盆・正月の休日出勤者特別手当、夜勤手当の改定など処遇の改善も図ってきました。そして「大木会経営・運営基本方針、中・長期活動指針」をまとめましたが、「介護から共育へ」を謳い、介護支援の単なる福祉肉体労働者ではなく、生涯学習に取り組む、自らの目標や達成感も持てる共感のある共育労働者であることを共有しようという年であり、それによる現場の充実以外、冒頭に記した行政や社会の施設に対する意識変革への異議訴えは出来ないと感じてきた一年でもありました。

年初に重点事項に掲げた項目は、それぞれの部門・現場からの関連する報告でご理解くださいますようお願い申し上げます。

1)【重点事項】

1. 社会福祉法に適時適切に対処し、財務、事業ともに透明性の高い法人活動を進めます。

- ・監事監査（平成30年5月24日）、理事会（6月12日）、評議員会（6月28日）を経て平成29年度事業報告ならびに会計収支決算報告の認定を受け、現況報告として湖南省（所轄庁）に提出し、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」で開示されています。

- ・（毎月の定例会）法人会議において法人事業及び各施設事業の現状報告と進捗の確認を行い事業の執行に努めました。

2. 求人活動を強化します。併せて職員の成長を支援し、処遇の改善にも取り組みます。

- ・通年にわたりハローワークへの求人票提出。単位実習受け入れ大学（短期大学、専門学校含む）や直接に担当教員へ求人資料を送付し通年での求人活動を継続しました。
- ・リクルーター制度として若手職員が出身校及び担当教員への求人活動で龍谷大学、滋賀短期大学へ現場職員が訪問しました。
- ・職員の育成と定着への具体的な取り組みが処遇改善に向かうものとして、青山塾受講の奨励と支援、職員による個別企画研修を実施。法定外対応として夜勤手当、特定日勤務手当（年末年始及び夏季休暇時期）の新設。全職員への説明を終え、役割と目標・共育面談シートを基にした「共育面談制度」をスタートしました。
- ・職員の相談窓口設置を検討し、内部機関、外部機関の双方の具体的な整備を検討し次年度の課題としました。
- ・2名の新任採用職員が奨学金返還支援制度を利用することになりました。

3. 施設の建物・設備の整備、改修へ計画的に取り組めます。

- ・改築積立資金として合計 64,000 千円（一麦 28,000 千円、あざみ 10,000 千円、もみじ 23,000 千円、おおきな木 3,000 千円）を積み立てました。
- ・（もみじ・あざみ）空調設備の更新、女子棟トイレの改修工事の実施、もみじ・あざみともに、LED照明への転換工事の準備を進めました。
- ・（一麦）大きな改修工事はなかったが、次年度以降の予定として空調設備の更新、日中活動棟及び多目的な活動に取り組む環境整備構想を具体化することとしました。

2) 長期借入金返済状況

- ・（独）福祉医療機構からの施設整備等の長期借入金については、新たにグループホーム（碧天）整備のため 30,000 千円の借入金（15 年賦、年利 0.34%）を設定していますが、平成 31 年 1 月から元金返済が開始されました。

（平成 31 年 3 月 31 日現在） 単位：円

使 途	借 入 先	期首残高	当期返済額	期末残高	完済年度
建物取得（一麦）	（独）福祉医療機構	31,500,000	4,500,000	27,000,000	平成 36 年
建物取得（あざみ）	（独）福祉医療機構	6,300,000	2,100,000	4,200,000	平成 32 年
建物取得（もみじ）	（独）福祉医療機構	14,700,000	4,900,000	9,800,000	平成 32 年
建物取得（GH 碧天）	（独）福祉医療機構	30,000,000	586,000	29,414,000	平成 44 年
小 計（1）		82,500,000	12,086,000	70,414,000	
建物取得（一麦職員寮）	（株）滋賀銀行	30,119,000	5,076,000	25,043,000	平成 35 年
建物取得（特殊浴室棟増築）	（株）滋賀銀行	25,000,000	3,000,000	22,000,000	平成 38 年
内 訳	一 麦	8,333,400	1,000,100	7,333,300	
	もみじ	8,333,400	999,900	7,333,500	
	あざみ	8,333,200	1,000,000	7,333,200	
小 計（2）		55,119,000	8,076,000	47,043,000	
総 計		137,619,000	20,162,000	117,457,000	

3) 施設・設備整備事業

- ・補助金による整備事業は行っていません。
- ・(もみじ・あざみ) トイレ改修整備、LED照明転換工事等を実施し、空調設備更新工事およびLED照明転換工事については次年度継続整備となります。
- ・(一麦) 特記する整備工事は行っていませんが、各所経年劣化等による設備の更新を行いました。また、空調設備、管内循環給湯設備及びLPガス供給設備(バルク)のメンテナンスまたは更新など実施時期を検討することとしました。

4) 寄付採納について

- ・森野聡(元もみじ利用者 平成29年9月20日逝去) 親族(兄弟姉妹・甥)
- ・中村良夫(元もみじ利用者 平成30年4月25日逝去) 親族(姉)
- ・小川滋(元もみじ利用者 平成30年7月24日逝去) 親族(甥)
- ・平成30年11月29日 ネットトヨタ滋賀株式会社
車両寄付(車いす仕様車:スロープタイプ)
- ・償還寄付金 一麦保護者会(5,450,000円)
もみじ・あざみ家族の会(7,000,000円)

2、役員会・評議員会関係

〈監事監査〉

1) 30年5月25日(木)、於大木会事務局

平成29年度理事、法人及び施設の執行状況及び財産管理状況、会計状況に関する監査。

〈理事会〉

1) 第1回理事会/30年6月12日(火)、於一麦

平成29年度事業報告の承認について、平成29年度会計収支決算報告の承認について、監事監査報告の承認について、平成30年度会計収支補正予算(第一次)案の承認について、諸規定の一部改正(専決処分)について、もみじあざみ空調設備工事の承認について

2) 第2回理事会/29年9月27日(木)、於一麦

平成30年度会計収支補正予算案(第二次)の承認について、諸規定の一部改正の承認について、もみじ・あざみ空調設備工事見積結果の承認について、寄付金歳入の報告と承認について

3) 第3回理事会/30年12月13日(火)、於一麦

諸規定の一部改正の承認について、もみじ・あざみ空調設備整備(第一期工事)完了報告の承認について、寄付金歳入の報告と承認について、一麦実地指導監査の報告について、法人運営主要人事の承認について

4) 第4回理事会/31年3月19日(火)、於もみじ・あざみ

諸規定の一部改正性の承認について、平成31年度事業計画(案)の承認について、平成31年度資金収支会計予算(案)の承認について、理事及び監事の退任(任期満了)について、理事及び監事の候補者選定について

〈評議員会〉

1) 第1回評議員会／30年6月28日(木)、於一麦

平成29年度事業報告の承認について、平成29年度会計収支決算報告の承認について、監事監査報告の承認について、平成30年度会計収支補正予算(第一次)案の

承認について

2) 第2回評議員会(決議の省略)／30年10月4日(木)、於一麦

平成30年度会計収支補正予算案(第二次)について、諸規定の一部改正について、もみじ・あざみ空調設備工事見積結果について、寄付金歳入の報告について

3) 第3回評議員会(決議の省略)／30年12月20日(木)、於一麦

諸規定の一部改正について、もみじ・あざみ空調設備整備(第一期工事)完了報告について、寄付金歳入の報告について、一麦実地指導監査の報告について、法人運営主要人事について

4) 第4回評議員会／平成31年3月26日(火)、於もみじ・あざみ

平成31年度事業計画(案)の承認について、平成31年度収支会計予算(案)の承認について、理事及び監事の退任報告(任期満了)について、諸規定の一部改正について

3、規則・規程の制定／改廃

- ・職員就業規則の一部改正 平成31年3月31日施行

第7条(採用時の提出書類)、第10条(定年)

- ・給与規程の一部改正 平成31年4月1日

第10条(昇給)*学歴格差是正

4、主な契約・許認可・届出

1) 契約

- ・もみじあざみ空調設備(GHPエアコン更新)第1期工事

もみじ男子棟:9,072,000円(税込)、あざみ棟9,396,000円(税込)

工期:平成30年10月1日から11月9日まで

発注日:平成30年9月1日

施工:須賀工業株式会社 滋賀支店

- ・「社会福祉法人用役員賠償責任保険」の加入(継続) 保険料83,000円

加入日:30年10月1日(期間:1年間)

被保険者:理事及び幹事。評議員を含む。

- ・「しせつの賠償補償」の加入(継続) 保険料235,320円

保険期間:平成30年4月1日から1年間

2) 届出

- ・指定障害福祉サービスに関する報告・届出

30年4月20日 実績報告書、体制届(地域区分の変更):各施設・事業所

・労務関係（労働基準法）

31 年 4 月 14 日 第 17 条関係 時間外労働、休日労働に関する協定届
（但し、時間外労働については特別条項を付記）
なお、届け出日より協定有効となります。

5、登記関係

1) 30 年 9 月 11 日 理事(代表)の変更登記 *平成 29 年 6 月の手続きが未完の為
資産総額変更登記（平成 30 年 3 月 31 日現在）

6、主な事項・行事等

1) 法人・施設

30 年 9 月 19 日 糸賀一雄没後 50 年追悼の集い もみじ体育館

2) 関連事業等

30 年 7 月 28 日 大木会後援会総会

30 年 11 月 1 日 糸賀一雄記念賞・未来賞授賞式 於びわ湖小ホール

30 年 11 月 11 日 大木会後援会自主事業 於 湖南省立石部文化ホール
「ル・シャンテ ハッピーオータムコンサート」

7、なんでもお話し しましょう会（大木会福祉サービス苦情解決委員会）

・苦情受付、（聞き取り）お話し会開催状況

30 年 4 月 29 日 於 一麦 男子 6 名、女子 3 名（第三者委員 3 名）

30 年 9 月 23 日 於 もみじ・あざみ 男子 1 名、女子 4 名（第三者委員 2 名）

31 年 1 月 12 日 於 おおきな木 女子 6 名（第 3 者委員 1 名）

31 年 1 月 27 日 於 一麦 男子 4 名、女子 3 名（第三者委員 2 名）

31 年 3 月 22 日 於 一麦（個別面談） 女子 1 名（第三者委員 1 名）

・委員会開催状況

4 月、9 月、1 月の定例のお話ししましょう会終了後に委員会を開催。第 3 者委員より、お話し会の報告と施設側より現況及び利用者個別の状況と処遇課題を報告し、必要に応じて第三者委員からの助言と意見交換を行い、課題と取り組む方向を整理する。

利用者家族から第三者委員に直接訴えがあり、第三者委員会（3 名）として聞き取りとその対応を計 2 回行った。申し出内容に事実誤認と偏見がうかがえるが、家族と施設のコミュニケーションの大切さが示された。家族からの申し出は初めてのケースでしたが、今後はさらに活用しやすい広報と周知が求められる。

〈 一 表 〉

1、実施事業

生活介護	定員 50 名
施設入所支援	定員 50 名
短期入所	定員 2 名 (男 1、女 1)
日中一時支援事業	定員なし

緊急一時保護
災害時における福祉避難所

2、利用者の異動

年度初日	定員 50 名	現員 49 名
年度中	平成 30 年 12 月 18 日女性 1 名死亡退所 (胆管がん)	
年度末日	定員 50 名	現員 48 名

3、職員の異動

平成 30 年 4 月 1 日現在	31 名	施設長 1 (サービス管理責任者兼務) 事務長 1 副施設長 1 生活支援員 16 (常勤 15、短時間 1) 嘱託医 1、看護師 1、栄養士 1、 調理員 4 (常勤 3、短時間 1) 書記 3 (常勤 3)
平成 31 年 3 月 31 日退職	1 名	(生活支援 1 名)
中途退職者	3 名	(看護師 1 名、生活支援 1 名、調理員 1 名)
中途採用者	5 名	(生活支援員 2 名、看護師 1 名、調理員 2 名)

4、利用者と生活の状況

〈特記事項〉

年度初めに感染性胃腸炎が蔓延し、新年度始業式は 4 日遅れで実施。不安なスタートを切ったが、その後は年間を通して大きく崩れる利用者はなく、冬場に流行したインフルエンザには、1 名も罹患することなく乗り切ることができた。ただ、短期間ではあった、入院が 3 名あり、その対応には苦慮した。また、かねてより胆嚢癌であった女性利用者が 12 月 18 日に自室で眠るように亡くなった。寮内で最後までしっかりと看取ることができたことは、利用者・職員にとって貴重な経験となった。

高齢化が進み身体機能の低下が顕著な利用者が増え、介護支援の度合いが多くなってきており、現職員体制では安心安全な対応が困難な時もあり、生活支援員の超過勤務・変則断続勤務が続き、厳しい状況が続いた。ただ、午前中のクラス別活動、恒例の行事や外出、特殊浴槽の利用などはしっかりと取り組むことができた。

＜生活の様子＞

近年入所の利用者も徐々に落ち着きを見せ、寮内の生活は落ち着いてきたが、高齢・重度化が進み、転倒・排泄・皮膚疾患など健康管理への支援のウエイトが大きくなっている。ご家族の高齢化も進み、年 5 回の帰省もほとんどの利用者が残ることになるが、帰省外出と称してお楽しみの個別または少人数の外出を楽しみにして過ごせるようになってきている。

造形活動専属の職員を 11 月に迎え入れることができ、年度末には粘土が再開された。全体的に活動量が減少している中で、興味を持ち意欲的に取り組もうとする利用者もあり活気が戻りつつある。次年度につなげていきたい。

＜医療・診療状況＞

＜受診状況＞

受診科	実人数	受診回数
内科	39	321
泌尿器科	5	28
外科	10	28
整形外科	10	92
婦人科	8	8
精神科	11	86
耳鼻咽喉科	5	7
眼科	5	14
皮膚科	14	168
歯科	49	550
リハビリ	3	269

＜主な検診＞

6/6	結核検診
7/11、12/12、3/13	内科健診（嘱託医）
9/6、9/12	腹部エコー
10/4	歯科検診（口腔センター）
11/7	インフルエンザ予防接種
10/10、12、15	婦人科検診
1/9	成人病健診

＜入院＞延人数

- ・ 生田病院 (内科) 1 名 6 日間
- ・ 済生会病院 (泌尿器科) 1 名 7 日間
- ・ 滋賀医大 (皮膚科) 1 名 3 日間

5、主な行事・活動

4/2 新人職員着任式・新年度会議、/5 帰寮日、/10 始業式、/24～25 一隅研修旅行(県内)

/29 何でもお話ししましょう会

5/1 氏神祭、/5 親子はんどうすいさん、/16 バス遠足(奈良公園)、/23 ブラッシング指導

①、/25 古希・還暦祝会 /27～6/1 帰省、/30 害虫駆除

6/6 結核検診、/15 石部中学校ふれあい交流会① /20 ブラッシング指導②

/26～28 4組研修旅行(岡山・香川方面)

7/7 七夕祭、/18 プールびらき・避難訓練、/25～26 一麦合宿

8/2 1学期お楽しみ会(レクリエーション)、/5～15 帰省、/9 石部日赤奉仕、/30 地藏盆

9/12～14 5組研修旅行(知多半島)、/6・12 腹部エコー、/23 お月見会

10/8 第 57 回運動会、/12 石部中学校ふれあい交流会② /21～26 帰省、/24 害虫駆除

/28 ふれあい広場、/31 還暦お祝い会・総合防災訓練

11/7 インフルエンザ予防接種、/11 大木会後援会自主事業、 /13 知ハン協文化のつどい
 /18 田村祭、/22/親子バス遠足(琵琶湖大橋米プラザ)
 12/1 N E Gもちつき大会、/12 内科健診、/17 2学期のお楽しみ会(映画上映会)
 /24 クリスマス会、/25～1/5 帰省
 1/9 成人病健診、/27 何でもお話ししましょう会、/29 新年のお食事会・避難訓練(地震)
 2/3 節分 /10 卓球大会、/21 3学期お楽しみ会(喫茶店)
 3/3 ひなまつり、/5 総合防災訓練、/10 日中活動クラス発表会、/13 内科健診
 /25 修了式・帰省(/25～4/4)

6、主な施設整備

特になし

7、保護者会の活動状況

- | | |
|------------------|---|
| 1) 30 年 5 月 27 日 | 総会・役員選出、事業報告、事業計画、近況報告 |
| 2) 30 年 9 月 16 日 | 個別支援系計画の説明、近況報告 |
| 3) 30 年 12 月 1 日 | もちつき大会、高齢化への対応、預り金報告、近況報告 |
| 4) 31 年 3 月 4 日 | 親子すき焼き会、日中活動クラス活動紹介発表会、大木会の
新年度体制について(理事長)、個別支援計画半期の見直し、
年金管理報告、近況および今年度の報告 |

〈もみじ〉

1、実施事業

生活介護 定員 50 名
施設入所支援 定員 50 名
短期入所 定員 4 名 (男 2 名、女 2 名)
日中一時支援事業
定員なし (緊急一時保護)
災害時における福祉避難所 (湖南市)

2、利用者の異動

年度初日 定員 50 名 現員 45 名
年度中 4 月 25 日 男子 1 名死亡退所 (脳梗塞)
 7 月 24 日 男子 1 名死亡退所 (認知症)
 9 月 27 日 男子 1 名死亡退所 (慢性腎不全)
年度末日 定員 50 名 現員 42 名 (男子 21 名、女子 21 名)

3、職員の異動

30 年 4 月 1 日現在 27 名

{	施設長 1、サービス管理責任者 1 生活支援員 19 (常勤 14、短時間 5)、 看護師 3 (常勤 1、短時間 2)、管理栄養士 1、 調理員 1 (常勤 1)、書記 1
---	--

31 年 1 月 16 日 異動 (一麦へ) 1 名 (看護師・短時間)
 2 月 1 日 (短時間) 調理員採用

4、利用者の生活状況と取り組みについて

近年の平均年齢は 60 歳～63 歳を推移していますが、暮らしの土台を支えている利用者は 65 歳以上の方たちです。個々の健康課題により大きく違いますが、健康保持は重要な生活課題として日々迫っています。

一人ひとりの生活に目を向けると、それぞれが、その力と意欲を発揮する機会と場面を求めています。年齢、障害の程度、健康状態など違うなかで各利用者が納得してその力を発揮してくれる場面や機会を職員や周りの人たちと共有できることを願って課題と目標を大切にする取り組みを継続しています。

5、生活の変化と住環境の対応 (施設・設備整備)

破損・老朽箇所の補修は即時の対応が基本ですが不自由なことも生じますが適時の対応を行い生活環境の保全に取り組み、今年度の高額整備は以下のとおりです。

- ・ 男子棟空調設備更新工事
- ・ 女子棟トイレ改修工事
- ・ 男女生活棟カーテン等更新
- ・ 男女浴室窓目隠ブラインド設置

〈あざみ〉

1、実施事業

生活介護	定員 30 名	
施設入所支援	定員 30 名	
短期入所	定員 2 名	
日中一時支援事業	定員なし	(緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南市)		

2、利用者の異動

年度初日	定員 30 名	現員 25 名
年度末日	定員 30 名	現員 26 名
・平成 30 年 7 月 2 日 長期入院利用者退院し復帰 1 名 但し、入院時特別支援加算を受けていることより在籍。		
・平成 30 年 9 月 28 日 措置による入所利用者 1 名		

3、職員の異動

30 年 4 月 1 日現在	17 名	施設長 1 名、サービス管理責任者 1 名 生活支援員 10 (常勤 5、短時間 5) 看護師 1 (短時間)、栄養士 1、 調理員 2 (常勤 1、短時間 1)、書記 1
----------------	------	---

9 月 1 日 (短時間) 生活支援員 1 名採用

* 育児休業取得者 1 名 (生活支援員) 復職 平成 30 年 4 月 30 日～

* 育児休業取得者 1 名 (生活支援員) 平成 30 年 10 月～ (平成 31 年 4 月 30 日 復職)

4、利用者の生活状況と取り組みについて

近年の平均年齢は 60 歳～63 歳を推移していますが、暮らしの土台を支えている利用者は 65 歳以上の方たちです。個々の健康課題により大きく違いますが、健康保持は重要な生活課題として日々迫っています。

一人ひとりの生活に目を向けると、それぞれが、その力と意欲を発揮する機会と場面を求めています。年齢、障害の程度、健康状態など違うなかで各利用者が納得してその力を発揮してくれる場面や機会を職員や周りの人たちと共有できること願って課題と目標を大切にする取り組みを継続しています。具体的な行事や地域活動については別項の行事・活動報告をご参照ください。

5、生活の変化と住環境の対応 (施設・設備整備)

破損・老朽箇所の補修は即時の対応が基本ですが不自由なことも生じますが適時の対応を行い生活環境の保全に取り組み、今年度の高額整備は以下のとおりです。

- ・空調設備更新工事
- ・カーテン等更新
- ・浴室目隠しブラインドの設置

もみじ・あざみ共通事項及び参考資料

1、医療・受診状況

〈通院状況〉

受診科	もみじ		あざみ	
	実人数	受診回数	実人数	受診回数
内科	37	300	20	162
外科	9	19	9	14
眼科	17	31	18	36
皮膚科	12	44	17	90
歯科	18	127	15	49
その他	27	308	18	115

〈定期健診等〉

4月13日	結核検診
7月12日・13日	内科検診、腹部エコー
8月2日	歯科検診（歯科医師会）
11月22日	インフルエンザ予防接種
1月21日・22日	成人病検診

〈嘱託医契約〉 嘱託医を配置せず、無医師配置減算体制を届出。

〈入院の状況〉

もみじ： 済生会滋賀県病院（栗東市）2人

誤嚥性肺炎（1名35日間）、上腕骨骨折（1名4日間）

： びわこ学園福祉医療センター野洲 1名（肺炎、嚥下機能低下）

あざみ：水口病院（甲賀市）1人 精神科（多飲水による低ナトリウム血症）

*7月2日退院（平成27年5月30日から入院 2年間）

：滋賀医科大学付属病院（大津市）1人 白内障（9日）

：横浜旭中央病院（横浜市）1人 変形性股関節症（25日間）

〈来診・往診の状況〉：延べ38回

佐野医院（内科） 4名（24回）

びわこ学園（内科）2名（28回）

薬師川眼科（眼科）1名（3回）

阿星山診療所（精神科） もみじ：24名、あざみ13名（計12回）

*毎月往診の形態で各利用者（及び担当職員）と面談し、処方箋を含めて対応

〈訪問マッサージ〉 たかはし治療院

計5名（うち1人死亡）の利用者が、医師の意見書をもって身体機能の保持と低下の抑制を治療目標に、1～3回／週の割合で、訪問マッサージを受けています。

〈健康管理総括〉

加齢に伴う筋力・反射力の低下、バランス障害（体感機能の低下）、視力障害、精神的な不安定さなど要因は様々ですが、歩行不安定により転倒する場面が増加しています。また、嚥下機能低下、認知機能低下も併せ各利用者の日々の状況を把握し、安全に安心して生活活動が続ける事ができるように身体機能の維持と生活意欲の保持の工夫と取り組みが必要です。

感染症（風邪、インフルエンザ、胃腸炎など）が疑われる際の早期の対応に努めていますが、健康回復とそれまでの生活状況に戻るまでにはこれまで以上の期間と対応が必要になっています。

1、生産活動と利用者工賃（報償費）報告について

平成30年度より、月額1,000円及び12月期に5,000円を本人支給金として、社会活動奨励・促進を目的として全利用者に直接支給し活用することとして工賃支給基準を変更しました。また、通所により作業に参加している利用者については、通勤自助手当として日額100円を加算し支給しています。

(月額・人数)

工賃内訳	金額	延べ人数		月平均人数	
		もみじ	あざみ	もみじ	あざみ
作業手当(3,000円)	3,000円	67	31	5.6	2.6
作業手当+皆勤手当(2,000円)	5,000円	495	216	41.3	18.0

月額平均工賃：作業参加日数を2区分（基準：3分の2以上で皆勤手当を支給）で評価し上記工賃を支給しました。

各施設の一人当たりの月額工賃は以下のとおりです。

もみじ 4,841円

あざみ 4,781円

2、生産活動（就労支援事業）会計報告

もみじ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
クリーニング事業収入	2,476,527	材料費	389,127
陶芸事業収入	25,300	労務費(報償費)	2,720,600
農芸事業収入	122,854	外注加工費	0
その他の事業収入	71,500	経費	1,737,005
生産活動収入合計	2,696,181	生産活動支出合計	4,846,732
生産活動収支差額	△2,150,551		

あざみ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
織物事業収入	694,100	材料費	115,213
		労務費(報償費)	1,180,800
		外注加工費	0
		経費	147,410
生産活動収入合計	694,100	生産活動支出合計	1,443,423
生産活動収支差額	△749,323		

4、主な行事・活動

- 4/1 着任式、/3 新年度会議、/5・7月2日帰寮日（3/25、/27～）、/9 始業式、/10 まんぷく祭り、/13 結核検診、/23. 24 甲賀高分子新人研修、/26 社会科学習会、/29 何でもお話ししましょう会
- 5/1 氏神祭、/3 宝来坂春祭、新任研修、/21 石部日赤奉仕団奉仕作業、/27 運動会
- 6/1 家族の会役員会、/5. 7 石部小3年交流会、/6 総合防災訓練、/16 おいでやコンサート、/27 薬剤散布（害虫駆除）
- 7/5 新任職員研修、/7 七夕・創立記念日、/10 避難訓練、/11 寮生旅行①、/26 寮生旅行②、/27 深夜業務職員健診
- 8/2 歯科検診、/5～17 夏季休暇帰省、/18 石部南小学校教員研修、/23 地藏盆
- 9/3. 4 モニタリング会議①、/11. 12 寮生旅行（キャンプ）、/19 追悼会. 糸賀一雄没後50年、/23 何でもお話ししましょう会、/23. 24 寮生旅行③、/30 兄弟姉妹の会（大宴会）
- 10/3. 4 男子キャンプ、/4（県）総合教育センター新任教員研修、/7 女子棟祝会、/9 避難訓練、/12 石部中核交流会、/20 文化祭プレオープン、/21 文化祭、/25 石小交流会、/28 ふれあい広場
- 11/1 糸賀一雄記念賞、/9 石部マラソン・ウォーキング大会. 石部小交流会、/11 後援会コンサート. 石部南ふれあいまつり、/14. 15. 16 全国知的障害関係施設職員研修会、/15. 16 知ハン協新任研修会、/17 あざみ祝会、/22 インフルエンザ予防接種、/23 男子棟祝会、/27. 28 寮生旅行③、/30 アートコラボレーション
- 12/1-3 名古屋展、/3 避難訓練、/4 石部小交流会、/15 クリスマス会、/19 聖マリアンナ教会クリスマス会、/5 石部小学校3年交流会、/7 文化の集い（守山）、/10 大津・聖マリア教会慰問、/26 薬剤散布（害虫駆除）/27 門松作り（かなかなサロン）、/23. 28 冬期休暇帰省（～1/5）、/27 大木会新任研修②
- 1/7 仕事始め、/17 職員研修A②、/21. 22 成人病健診、/31-2/1 モニタリング会議
- 2/2 家族の会懇談会（湖南）、/3 節分. 家族の会懇談会（彦根）、/10 家族の会懇談会（京都）、/11 家族の会懇談会（東京）/21 職員研修⑧
- 3/3 ひな祭り寮生劇、/24. 28. ～4/7 春休み
- *その他に寮生劇等で協力参加している劇団の演劇公演に小グループで数回、大阪や尼崎などに観劇に毎年出かけている。

5、家族の会開催状況

- | | | |
|----|----------|---------------------------|
| 1) | 30年6月2日 | 役員会 |
| 2) | 30年6月15日 | 監事監査 |
| 2) | 30年6月25日 | 総会 29年度事業報告、利用者預り金報告、近況報告 |
| 3) | 31年1月19日 | 役員会 |
| 4) | 31年2月2日 | 湖南地区別懇談会（石部会場） |
| | 31年2月3日 | 湖北地区別懇談会（彦根会場） |
| | 31年2月10日 | 関西地区別懇談会（京都会場） |
| | 31年2月11日 | 関東・新潟地区別懇談会（東京会場） |

〈グループホームおおきな木〉

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム)共同生活援助(介護包括型)

指定期間 平成26年4月1日から(2020年)平成32年3月31日まで

定員 6名

職員配置基準 管理者 宮城てるみ(非常勤兼務)

サービス管理責任者 宮城てるみ(非常勤兼務)

生活支援員 1名(世話人兼務)(25時間/週以上)

世話人 3名(5:1体制 48時間/週以上)

夜間支援体制(宿直):法人関係職員が担当

2、利用者の異動

年度初日 定員6名 現員6名

年度末日 定員6名 現員6名

3、主な活動及びホームの動き

- ・入居者誕生会(誕生月毎)
- ・外出 4/3みやこ踊り鑑賞(京都)、5/26歌劇「天空のまち」観劇(高島市)、8/11・14映画外出、(8月、9月グループ別に外出)、1/2外食・映画鑑賞、1/3お楽しみ会
- ・避難訓練(避難・通報・消火) 平成30年8月19日
- ・平成30年9月4日 台風通過により、湖南市から「避難準備」発令により、バックアップ施設「もみじ」に避難・宿泊

4、個別の活動や余暇

- ・休日のもみじ・あざみへ
- ・お点前のおけいこ(もみじ・あざみお点前クラブ)
- ・NPO法人ワイワイあぼしクラブ主催の余暇活動(月1回・実費)
- ・はりっ娘(刺子、編物、小物づくり等)余暇活動へ 月1回 於:不問庵

5、日中活動、就労状況

6名の入居者の日中の活動は様々です。2名は雇用(福祉的)による仕事に取り組み、2名は他法人運営の作業所、2名がもみじの生活介護を利用しています。いずれの場合も事業所との連携のもと、長く続けられるように取り組んでいます。

6、その他の事項

- ・運営会議(現況確認と利用者の意見交換) 毎月1回
- ・スタッフ調整会議(業務確認とケース会議等) 毎月1回
- ・(男子)グループホーム碧天は、おおきな木の皆さんにとっては気分転換となっています。

〈グループホーム碧天（あおぞら）〉

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム)共同生活援助（介護包括型）

指定期間 平成29年4月1日から（2023年）平成35年3月31日まで

定員 6名

職員配置基準 管理者 辻 好 明

サービス管理責任者 三上智美

生活支援員 1名(世話人兼務)（17時間／週以上）

世話人 3名(4：1体制 20時間／週以上)

世話人による支援体制6：1

夜間支援体制（宿直）：法人関係職員が担当

2、利用者の異動

年度初日 定員6名 現員2名

年度末日 定員6名 現員2名

年度中より入居希望者4名の体験利用を経て、31年4月1日付けで2名の新規入居者を迎える。

3、主な活動及びホームの動き

- ・月1回を定例に土・日開所
- ・入居者誕生会（該当月）
- ・外出等

5／19三雲養護学校運動会見学、5／20なかよし作業所展示会見学

7／20日帰り旅行（各務原航空宇宙博物館）、7／29開所1周年祝会（家族参加）、8／30一麦地藏盆参加、12／24クリスマス会、2／4節分

- ・避難訓練（非難、通報、消火） 8月19日 おおきな木と合同訓練
- ・入居希望者見学・説明会（8月28日4名、10月2日2名）
- ・体験入所 希望者4名 10月19日から各人1泊～5日
- ・平成30年9月4日 台風通過により、湖南市から「避難準備」発令により、バックアップ施設の「一麦」に避難・宿泊

4、日中活動、就労状況

2名の入居者は、日中活動の場として、それぞれ別の他法人が運営する作業所（生活介護）を利用しています。各作業所との連携のもと、安定した生活サイクルになるよう取り組みました。

5、これからの課題に向けて

前年に引き続き、週末帰省を基本としながら月1回の土日を開所する体制を継続しました。それだけに家族・保護者との関わり、連携は重要です。この点を怠ったり、滞る

と入居者の生活不安や混乱につながるため電話での確認だけでなく「碧天通信」を発行し、3者間の信頼を醸成するコミュニケーションを意識して取り組みました。

利用者自身は、「碧天」⇔「作業所」、週末の自宅という生活サイクルに離れたものの、急な予定変更や未定のことに対する不安、食事を含めた健康管理、対人関係を軸にした成長など、将来に向けて本人自身が学び取る課題へのホームとしての取り組みに大きな役割を感じます。

年度後半から、入居希望者に向けて見学会・体験入所を通して入居者選考を行い、2名の新規入居者を決定し、新たな人間関係情勢に向けての喫緊の課題となりました。

＜大木会相談支援事業所＞

1、事業及び体制

従業者の体制 管 理 者 多田勝則（兼務：大木会事務局長）
 相談支援専門員 上林 豊（兼務：一麦 副施設長）
 相談支援専門員 松田美帆（兼務：もみじ 主任生活支援員）
 * 概ね常勤換算 1.0 で相談支援専門員を配置。
 事務担当 松田圭隆（兼務：もみじ・あざみ施設長）

2、業務総括

サービス計画を担当するほとんどの利用者が大木会の各施設を利用しているため、比較的スムーズに進めることができますが、担当者が兼務であるため1か月に担当できるケースは、10ケース程度が限界です。他の事業所を利用し早期より計画相談が導入されていた方についても、当法人への転換依頼がありますが、できる範囲で対応しています。

3、業務まとめ

計画相談担当ケース状況

(人数)

区 分	大木会相談支援	他の事業所	セルフプラン	合計
一 麦	4 5	4	0	4 9
も み じ	3 5	6	1	4 2
あ ざ み	2 3		2	2 5
グループホーム	4	4	0	8
地 域	2			2
合 計	1 0 9	1 4	3	1 2 6